

令和2年度 第2回 岡崎市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会議事録

日 時 : 令和2年11月9日(月)

時 間 : 午後1時30分～午後2時35分

場 所 : 岡崎市役所分館2階 202号室

出席委員 : 権会長、高村委員、田中委員、鷺山委員、大島委員、畔柳委員、阿部委員、
原田委員、鈴木委員

欠席委員 : 若山委員

事務局 : 小河長寿課長、野澤介護保険課長、藤谷長寿課副課長、手島介護保険課副
課長、藤野施策係長、丸本予防係長、岡本地域包括ケア係長、尾方施策係
事務員

傍聴人 : なし

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
第8期高齢者福祉計画(案)について
- 4 閉会

権会長: それでは、早速、議事次第に基づきまして、会議を進めてまいります。なお、本日の専門分科会を開くに当たりましては、委員の過半数が出席しなければならないと規定されていますが、本日の出席人数は9名でありますので、会議が成立していることを報告します。

また、この会議は、岡崎市附属機関等の会議の公開に関する要領等によりまして、傍聴、会議資料と議事録につきましては、公開としますので、よろしくをお願いします。

なお、新型コロナウイルス感染防止対策の一つとして、会議は1時間程度を目安に終了するようという指示が出ています。岡崎市の方針でもありますので、説明及び発言はなるべく簡潔にいただき、目安の時間内の会議の終了を目指してご協力をお願いします。

— 議事 —

議事「第8期高齢者福祉計画(案)について」

<第1章 計画の策定にあたって

第2章 高齢者を取り巻く現状と課題

第3章 基本理念と基本目標

第6章 計画の推進に向けて > について藤野施策係長が説明

【主な意見・質疑応答】

権会長：22 頁ですが、第7期計画の評価と課題の「⑤介護予防に資する住民主体の通いの場」として、ごまんぞく体操の実績値が目標値を上回っているという報告がありました。それは意義のあることとは思いますが、ごまんぞく体操以外の住民主体の通いの場として、ほかに何かないのでしょうか。別の言い方をすると、この指標は、ごまんぞく体操に限定していますが、よろしいのでしょうか。

事務局：指標に掲げているものは、ごまんぞく体操のみです。ごまんぞく体操以外の住民主体の通いの場も存在していますが、ごまんぞく体操の場合、重複なしに参加者数を把握し、数値化できることから、65 歳以上人口に対するごまんぞく体操の参加者数を一つの指標としています。

権会長：これがどのように施策に繋がっているのかということもありますが、以前、学区福祉委員会主催のいきいきクラブやサロンを介護予防のための生活支援のプログラムとして位置づけていくということもあったかと思いますが、それらはどのような状況でしょうか。

事務局：いきいきクラブについては、以前は補助をしていましたが、今は補助をしておらず、各種出前講座やオリエンテーションなどを開催する際に、器具等の貸し出しといった支援をさせていただいている状況です。

原田委員：新型コロナウイルスの関係で人が密集してはいけないということから、サロンなどが軒並み中止となっています。それにあわせて補助金がカットされているということでしょうか。密集した状態ですが、サロンも体操したり、会話したり、よかったと思います。

事務局：補助金は、新型コロナウイルスとは関係なく、平成30年度で廃止させていただきました。ごまんぞく体操については、非常事態宣言の解除に伴い、かなりの場所で再開していただいておりますが、認知症カフェや通常のサロンについては、不安が強く、中断している状況と聞いています。

権会長：地域での交流やふれ合いが非常に難しくなっているのは想定できますが、地域によってはいろいろ工夫をされながら頑張っているということをお聞きします。実際に高齢者の皆さんがどのような思いで、どのような日常を過ごされているのかについて、情報共有できることがあればお願いしたいと思います。

畔柳委員：私の町内は、ごまんぞく体操を週1回、公民館で実施しています。3月から6月までは新型コロナウイルスの関係で中止にしておりましたが、7月からは思い切って週1回実施しています。しかし、40名ほど会員がいるのですが、

心配な方もいまして、一番少ないときで10名ほどしか参加がありませんでした。先週は、20名の参加がありました。やはり、新型コロナウイルスのことを心配されて参加を見合わせる方がいます。その責任者ですので、参加の機会を失いたくないという思いで行っています。一方、ごまんぞく体操を行う2年前までは、いきいきクラブを月1回、学区全体で行っていましたが、現在は5か所に分かれてそれぞれで実施しています。心配している町内もあり、3月から9月までは実施を見合わせていましたが、10月から再開しています。なお、ごまんぞく体操については、器具等は支給され、負担はありませんが、ごまんぞく体操を実施してから、月1回のサロンを中止にしています。私も2年前からごまんぞく体操を行っており、腰の具合が随分改善されました。これはお金のかからない素晴らしい取り組みだと実感しています。ただ、来ていただきたい人がなかなか来られない。人とふれ合うことが好きな人は来ていますが、介護予防のために来ていただきたい人に限ってあまり来られないと感じています。六ツ美のほうでお迎えのバスを始められたそうですが、その点の説明がもう少しあったらよいと思います。私たち民生委員が迎えに行けばよいのではという意見もありますが、やはりそこへ出かけて行って実際に参加して楽しかったということがなければ続かないと思います。今後、大いに皆さんに参加していただけるよう、広報をよろしくお願いします。

高村委員：ごまんぞく体操がどの地域でどれくらい実施されているのか、把握されているでしょうか。

事務局：把握していますが、資料を持ち合わせていません。

高村委員：新型コロナウイルスの影響で実施しているところと実施していないところがあると思います。誤解を招く可能性もあるので、実施している地域があれば、どういった対策をしているのかを調べた上で、啓発をしていく必要性があると思うのですが、いかがでしょうか。

事務局：ごまんぞく体操の再開に当たっては、こういう対策をした上で行っていただくという内容のチラシを作成し、配布させていただいたのですが、他の地域がどのように実施しているのか分からないというお問い合わせをいただくこともありますので、他の地域の状況をお知らせすることも検討させていただきます。

畔柳委員：私の町内では、業務用の扇風機を1台購入し、また、福祉委員会から1台借りて合計2台使い、夏の暑いときに、クーラーをつけ、窓を開放して実施していました。寒くなってからは、室温を上げ、外に向かって扇風機を回しています。窓を開けるほか、マスクを着用し、体温を計るということを実施していますので、そういった対応をすればよいかと思います。

鷺山委員：老人会でもごまんぞく体操を実施しているのですが、介護予防に資する住民

主体の通いの場の実績値に老人会の分も含まれているのでしょうか。

事務局：ごまんぞく体操の実施団体として登録いただいておりますので、含まれています。

阿部委員：第8期の計画期間は3か年ということで、令和5年度の目標が5.38%とあり、まだまだ新型コロナウイルスの感染が収束しない状況ですが、計画期間中に見直しを定期的にされるのでしょうか。

事務局：新型コロナウイルスの影響は多少あると思いますが、影響を受けずに実施していったものとして設定しています。

<第4章 基本施策の展開

基本目標1 住み慣れたまちで暮らし続けられる地域づくりの推進

基本目標2 健康寿命の延伸に向けた介護予防の推進

基本目標3 生きがいつくりと社会参加の推進

基本目標4 認知症と共に生きる施策の推進 > について藤谷長寿課副課長が説明

【主な意見・質疑応答】

権会長：62頁で、老人クラブの会員数と加入率が3年間で低下していくという見込みが示されていますが、このことについて何かご意見等ありますでしょうか。

鷺山委員：非常に難しい問題です。会員増強運動として5年間取り組んだのですが、実際には5年経って、全国で78万942人、愛知県で3万4,809人、岡崎市でも1,934人減っています。クラブ数も全国で9,405件、愛知県で272件、岡崎で6件減っています。各会長が一生懸命頑張って運動をしていますが、なかなか増えない状況です。会員が減少する理由として、まず、団塊の世代の加入が非常に低いということがありますが、どうしてかということ、高齢者雇用安定法の改正により働き方改革がなされたからです。70歳定年を謳っており、仕事をする方が非常に多くなってきています。また、インターネットの普及により、自分たちでサークル活動をしたり、自分たちで仲間をつくっていたりしています。現役でずっと働いてきた人は、地域との関わりが煩わしいということになかなか入ってくれない状況です。いろいろやってみたのですが、一番効果があったのが、一人ひとりに声かけをするということです。それも一生懸命やっているのですが、全体としては増えないという状況です。なかなかよい案が見つかりません。今の老人会にはあまり魅力がなく、入って楽しめるような魅力がないということがあります。もっとPRしないといけないのですが、補助金の使い方も厳しい状況で、楽しくやるのなら自分たちで持ち寄ってやらないといけないのではないかという声が出ているくらいです。老人会を楽しみに来ている人はあまり少ない状況です。特に、新型コロナウイルスでごまんぞく

体操やグラウンドゴルフ等が実施できず、やっと10月ごろからごまんどく体操を始めていますし、グラウンドゴルフも3密にはならないように少しずつ活動している状況です。

権会長：老人クラブとしては、現状を反映した見込量ということでよろしいでしょうか。

鷺山委員：そうです。

権会長：64頁の高齢者の生涯学習について、令和2年度の実績見込がゼロになっています。内容にもよるかと思いますが、教養講座等の定期講座も開催されていないということです。他のいろいろな勉強会や講座の場合、オンラインで配信し、受講する流れが定着しつつあります。高齢者を対象とした講座の場合については、そういった検討をされているのか、おうかがいします。

事務局：さまざまな生涯学習がありますが、計画に載せている開催回数と受講人数は、市内6か所の老人福祉センターが主催している定期教養講座の回数になります。オンラインによる開催は、老人福祉センターの講座ではまだ実施しておらず、具体的な予定はありません。ただ、まずはそういった情報機器を高齢者も使えるようにならなければいけないということから、一部の老人福祉センターからスマートフォンの使い方講座を開催したいという話は受けています。まずは、そうしたところで端末に慣れていただくことが必要になると思います。老人クラブの方たちに実際にお話をうかがっていますが、現状、高齢者の方がオンラインで受講するのは少しハードルが高いと感じています。

権会長：老人福祉センターにはWi-Fi環境が整備されているのでしょうか。

事務局：Wi-Fi環境はまだ整備しておりません。

権会長：情報機器に対して苦手意識があり、使用経験が少ない世代であるということは、客観的な事実としてあると思いますが、高齢者のつながりをつくったりする上で、時代に合ったものを積極的に準備して環境を整えていくことが、これからの高齢者福祉における行政の大事なスタンスではないかと思います。今だからこそ、そういう視点で、高齢者に合った支援のあり方を工夫していただければありがたいと思います。

鷺山委員：老人会の会員も非常に高齢化しています。私のクラブには84人所属しているのですが、そのうち50人が80歳以上です。インターネットを使うことは、老人にとって非常に難しいことではないかと思います。一生懸命習いに行っていて頑張っていますが、なかなか難しいです。

高村委員：71頁の認知症高齢者等個人賠償責任保険事業について、これは今年度から事業を開始しているということですが、実績はまだないということでしょうか。また、この事業は、岡崎市だけが実施しているわけではないと思いますが、その辺りも教えてください。

事務局：今年7月から開始し、加入していただいています。毎月、加入、脱退による増減はありますが、実績はあります。

高村委員：事例についてはわかりますか。

事務局：実際に支払いがあった事例はありません。

高村委員：岡崎市では今年度からとなっているのですが、他の地域も同じ時期から始めているのでしょうか。

事務局：他地域では昨年度以前から実施している自治体もあります。

高村委員：それらの地域での事例はわかりますか。

事務局：照会をしたわけではありませんが、実際に支払いをした自治体もあると聞いています。

権会長：ほかによろしければ、以上で、本日本日予定していた議事を終了とさせていただきます。いろいろなご意見等いただきましたので、事務局におかれましては計画案に必要な修正等を加えていただければと思います。皆さま、議事進行にご協力いただき、誠にありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しします。